

香芝東中学校
学校だより



令和3年4月13日
校長 井上直規

暖かな春の日差しが、何より嬉しい季節となりました。4月8日（木）、第38回入学式で216名の新入生を迎え、全校生徒611名で新しい年度のスタートを切ることができました。香芝東中学校の生徒たちは、学習にも部活動にも、行事や生徒会活動にも常に一生懸命に取り組む、文武両道の素晴らしい学校であると誇りに思っています。2年生・3年生の先輩たちと、新しく中学校の一員となった新入生が一つになり、「東=EAST」にちなんだ生徒会スローガン「笑顔(E) あふれる(A) すてきな(S) 東中(T)」の実現のために、職員一同、力を合わせて頑張っており、保護者の皆様や地域の方々にはご理解・ご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

【令和3年度 第38回入学式】

入学式の式辞の中で新入生の皆さんに学校長より2つの願いの話をしました。その内容は、2・3年生の皆さんにも聞いてほしいものですので、抜粋して掲載します。

皆さんの新たな学校生活の始まりに当たり、私からの二つの願いをお話しします。

一つ目の願いは「今を大切にすること」です。

『今ありて、未来も扉を開く。今ありて、時代も連なり始める』
これは、選抜高校野球の大会歌「今ありて」の一節です。緊張と不安を抱えて戦う今、この今を大切に、最後まで勝利を信じて諦めなければ「未来」と「時代」がやってくるという意味です。皆さんもこれから始まる中学校生活で、卒業後の未来を見据え、勉強に部活動に高い目標・高い志を持ち、それぞれの夢の実現に今を大切に、一步一步前進してほしいと願っています。

二つ目の願いは、「失敗を恐れず、挑戦・チャレンジし続ける」ということです。情報化やグローバル化により、将来の変化を予想することが困難な時代となり、今後の未来社会では、人工知能AIにどんどん仕事が置き換わっていくとも予想されています。知識の量では人工知能に勝つことはできませんが、アイデアを形として表現する想像力やイメージ、過去にとらわれない状況判断などは、人間だけに与えられた力と言えます。そして、何より「好き」という気持ちは、AIには永遠に到達できない領域でしょう。「好き」は夢や志を持つこと、チャレンジすることにつながる原動力です。皆さんには身に付けた知識や技能を活用し、学ぶ意欲や伸びていこうとする気持ちを持って、新たな知恵を創ることにチャレンジし続けてほしいと願っています。

「今を大切にすること」「チャレンジし続ける」この二つが私からの願いです。

今日はこの場所にはいませんが、2年生・3年生の先輩たちも、皆さんが入学してくることを心待ちにしていました。共に力合わせ、大いに活躍してくれることを期待しています。



東風（こち）

春から夏にかけて吹く東よりの風。氷を解き、春を告げる風。この風のように、暖かで清々しい風が、東中の隅々にまで吹き、どのクラスも思いやりと優しさのあふれる、心温まる関係を築いてほしいこと、また、この学校だよりによって保護者の皆様が学校のようなすを知り、少しでも安心していただけることを願い『東風』という名称を付けています。